1. 次世代型ＭＩＣＥの実現に資する

テクノロジー実現に資するテクノロジーの募集

[テクノロジーの名称を記入ください]

企画提案書

※提出日

※団体名

目次

[1. テクノロジーの概要 1](#_Toc201850078)

[1.1 テクノロジーを有する企業・団体等の名称 1](#_Toc201850079)

[1.2 テクノロジーの名称 1](#_Toc201850080)

[1.3 テクノロジーで解決するMICEの課題 1](#_Toc201850081)

[1.4 テクノロジーの概要 1](#_Toc201850082)

[2. 実績・体制 2](#_Toc201850083)

[2.1 応募資格の有無 2](#_Toc201850084)

[2.2 自社としての社会実装の実績 2](#_Toc201850085)

[3. テクノロジーの有用性・実装性 3](#_Toc201850086)

[3.1 主催者や参加者が抱える課題の想定（As Is） 3](#_Toc201850087)

[3.2 上記課題が解決され、数年後に実現したい姿（To Be） 3](#_Toc201850088)

[3.3 貴社テクノロジーの活用意義 4](#_Toc201850089)

[3.4 テクノロジーの革新性 5](#_Toc201850090)

[3.5 テクノロジーの国際対応力 5](#_Toc201850091)

[3.6 テクノロジーの実装・事業化の目処 5](#_Toc201850092)

[4. 価格、その他 6](#_Toc201850093)

[4.1 主催者がテクノロジーを活用する際の価格水準 6](#_Toc201850094)

[4.2 ガイドライン既出テクノロジーとの重複 6](#_Toc201850095)

# テクノロジーの概要

## テクノロジーを有する企業・団体等の名称

本文○○○。

## テクノロジーの名称

本文〇〇〇。

## テクノロジーで解決するMICEの課題

※簡潔にご記入ください。

本文○○○。

## テクノロジーの概要

※テクノロジーの活用イメージを示した図、ないし活用風景を映した写真等があればお示しください。

※また、公開情報があれば、参考までにURLを記載してください。

本文○○○。

# 実績・体制

## 応募資格の有無

下記のいずれかに○を付してください。

（　）応募要件を満たしている

（　）応募要件を満たしていない

※「応募要件を満たしている」場合のみ、以降の記載内容が審査対象となります。

## 自社としての社会実装の実績

※公開情報があれば、参考までにURLを記載してください。

本文○○○。

# テクノロジーの有用性・実装性

## 主催者や参加者が抱える課題の想定（As Is）

※主催者や参加者が直面している課題について、記入例を参考に、表内にご記入ください。

※表のボックスは、必要に応じて適宜追加・削除してください。  
※可能な限り具体的に、貴社としての理解や認識、仮説も含めてご記載ください。

※審査にあたっては、これらの課題や事項に関する理解・認識の具体性を重視して評価いたします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 課題の具体的な内容 | 課題が発生する主な要因・背景  （貴社の理解や認識、仮説を含む） |
| 記入例 | MICEのうち例えば学会について取り上げる。学会は毎回異なる会場で開催されることが多い。そのため、参加者は初めて訪れる会場に赴くことになる。  また、学会の会場は一つの建物内で完結せず、隣接する建物や近くの複数の建物に分かれている場合も多い。そのため、参加者は自分が現在いる場所と、目的とするセミナーの部屋の場所をそれぞれ把握する必要がある。しかし、会場が広大であったり複雑であったりすると、迷わずに目的地へ向かうことは容易ではない。このように、学会においては会場内での移動が分かりにくいという課題が存在する。 | * 案内表示のアクセシビリティが不十分である。 * 事前案内の情報が不足している。 * プログラム設計時に参加者動線の配慮がされていない。 * 主催者側の人員不足により、十分な案内・誘導がされていない。 |
| 課題➀ |  |  |
| 課題② |  |  |
| 課題➂ |  |  |

※なお、説明が表内に収まりきらない場合には、本文中に追記いただいても構いません。

本文〇〇〇。

## 上記課題が解決され、数年後に実現したい姿（To Be）

※3.1記載の課題（As Is）が解決され、実現したい将来像（To Be）を具体的にご記載ください。

※表のボックスは、必要に応じて適宜追加・削除してください。

※可能な限り具体的に、貴社としての理解・認識を仮説も含めてご記載ください。

※審査にあたっては、当該効果の理解・認識の具体性を重視して評価します。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 具体的な内容 |
| 記入例 | わかりやすい案内表示や事前案内により、参加者が迷わずスムーズに会場へ到着できる。  その結果、イベント開始前の混雑や遅延が解消され、参加者が余裕を持ってプログラムに参加できるようになる。また、主催者側も受付対応や誘導にかかる負担が軽減され、全体の運営が円滑に進むことが期待される。 |
| 課題➀が解決された姿 |  |
| 課題②が解決された姿 |  |
| 課題➂が解決された姿 |  |

※なお、表内に収まりきらない場合には、本文中にご記載いただいても差し支えありません。

本文○○○。

## 貴社テクノロジーの活用意義

※3.1記載の課題（As Is）と3.2記載の実現したい将来像（To Be）のギャップを解消するにあたって、貴社テクノロジーはいかにして貢献することになるのか、なるべく具体的に記載ください  
（例：どのような機能や仕組みにより課題を解決するのか、また導入・運用の流れなど）

|  |  |
| --- | --- |
|  | テクノロジーの活用意義（具体的な貢献内容） |
| 記入例 | 当社が提供する「●●システム」を導入することで、参加者のスマートフォンに最適化されたデジタル案内マップや、リアルタイムでの誘導通知を実現できる。  主な機能として、  ・会場内の現在地表示と目的地までのルート案内  ・多言語対応による外国人参加者へのサポート  ・混雑状況の可視化と分散誘導 などがあり、これにより、参加者が迷わずスムーズに会場へ到着できる環境を構築できる。 また、導入時には主催者向けの管理画面を提供し、案内情報の即時更新や運営スタッフとの連携も容易に行える。  運用面では、イベント当日のサポート体制や、利用状況のデータ分析による継続的な改善提案も実施する。 |
| 課題➀に対する貢献 |  |
| 課題②に対する貢献 |  |
| 課題➂に対する貢献 |  |

※なお、表内に収まりきらない場合には、本文中にご記載いただいても差し支えありません。

本文○○○。

## テクノロジーの革新性

※提案するテクノロジーの独自性や先進性、他の類似技術との差別化ポイントについて記載してください。  
（例：新規性、独自のアルゴリズム、業界初の機能等）

本文○○○。

## テクノロジーの国際対応力

※国際的なMICE開催を想定し、提案するテクノロジーがどのように海外対応しているか、または今後対応可能であるかについて記載してください。

（例：多言語対応、海外での導入実績、グローバルな標準への準拠等）

本文○○○。

## テクノロジーの実装・事業化の目処

※貴社としてのご認識について、いずれかに○を記してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ①研究開発・PoCフェーズ |  |
| ②現場実証フェーズ（今年度末時点でも②と想定） |  |
| ②現場実証フェーズ（今年度末時点では③と想定） |  |
| ③実装・試行導入フェーズ |  |
| ④事業化・運用フェーズ |  |

本文○○○。

# 価格、その他

## 主催者がテクノロジーを活用する際の価格水準

本文○○○。

## ガイドライン既出テクノロジーとの重複

本文○○○。